

令和7年度学校だより

学校教育目標

自主 責任 明朗

キャッチフレーズ

夢・自信・誇り



六中だより 9月号

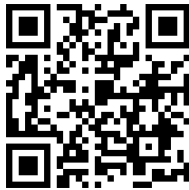
開校46年目

〒352-0023 埼玉県新座市堀ノ内3-1 1-1

TEL 048-478-2764 FAX 048-482-0136

HP <https://j-dairoku-c-niiza.edumap.jp>

→ 第六中HP →



～「夢・自信・誇り」を育む学校を目指して～
伸びている、六中生（県の調査より）

校長 中島 豊

2学期がスタートしました。夏休み中は大きな事故もなく、生徒たちは充実した夏休みを過ごせたことと思います。

さて、1学期のはじめに、全国及び県の学力や学習状況等に関する調査が行われ、それぞれの結果が返ってきました。一人一人の結果を今後返却しますので、保護者の方も是非ご覧ください。

調査結果は、校内の職員にも共有しており、先日は結果を分析するとともに、今後にどのように生かすかということを校内で検討しました。今号は、県の調査結果の一部をお伝えします。

まず、学力についてです。

【各学年・教科 平均正答率】

	1年	2年	3年
国語	62.0	54.2	56.2
数学	49.8	47.0	51.7
英語		61.7	49.2

本校の結果は上記のとおりですが、県の平均正答率と比較すると、国語はどの学年も県と同程度か若干下回っている、数学はどの学年も県を下回っている、英語2年生は上回り、3年生は下回っている、という結果でした。

県の学力調査の特徴として、一人一人の「学力の伸び」が確認できることが挙げられます。こちらについては、六中は学力を伸ばしている生徒が多いことがわかりました。特に3年生はすべての教科

で「学力を伸ばした生徒の割合」が県の平均を上回っていました（2年生になってから「本気」を出している生徒が多いのでしょうか?）。



次に、質問調査の結果です。「登校や授業開始の時刻を守ること」や「返事・丁寧な言葉遣い、礼儀正しく人と接すること」は、「できる・よくできる」と答えた生徒がどの学年も90%を超えていました。一方、「整理整頓」については、県の結果もよくないのですが、六中生は県との比較でも「できる・よくできる」と回答した生徒の割合がさらに低く（70%前後）、今後の課題であることがわかりました。また、「やらなければいけないことはきちんとやるべきである」と考えている生徒が多い一方、「わからないところもあきらめずに学習する」ことは苦手と答えた生徒が多かったです。

県の作成した、リーフレットには、家庭での調査結果の活用法として、「『伸び』が見えると『意欲』が高まります！よかったところや伸びたところをほめてあげてください。」とあります。結果をご覧ください、「よいところ」を確認したうえで、一人一人に合った「目標の設定」などを行えるとよいと思います。

学校としても、結果の分析を踏まえ、引き続き授業力の向上、教育活動の改善を図ってまいります。